



長生き感謝祭

議会だより

# 孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名)

- P2～ 平成24年度決算審査認定
- P5 議会の新体制が決まりました
- P6～ 一般質問
- P9～ 第3回定例会
- P11 第7回・第8回臨時会
- P12～ 委員会視察報告
- P15 全道議会広報研修会/議会のうごき
- P16 わたしの一言/あとがき

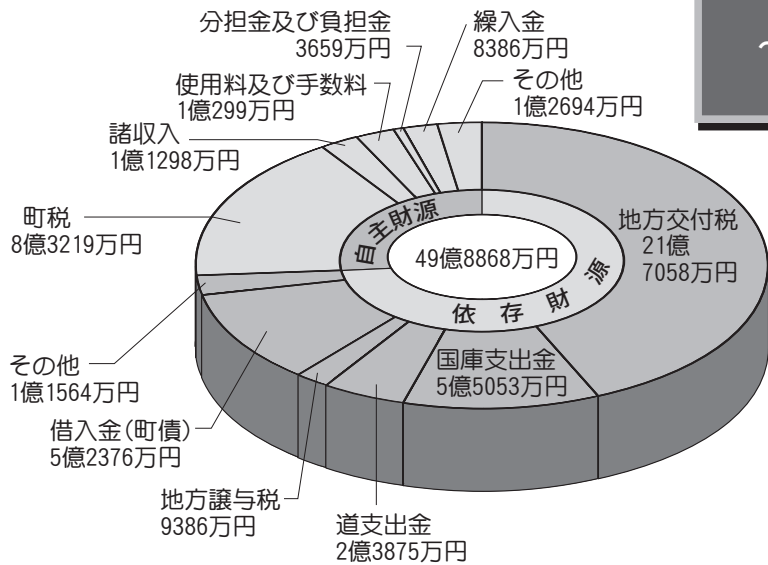
# 決算認定

8640万円、とわ北斗(旧北斗小校舎)改修補助4500万円

平成24年度決算額

48億1075万円

～前年度比 7933万円減～



## 自主財源…

町が自主的に収入とすることができるお金

## 依存財源…

国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)

一般会計 収入(歳入)合計  
49億8867万6603円

## ◆ 一般会計 ◆

## Q&A

### 歳入

**Q. 近藤議員** 未収になっっている農産加工センターの使用料は。

**A. 産業振興課長** 再三訪問して入金を勧めており、3回に分けて完納しています。完納するまでの間、施設利用は断っていました。

**Q. 近藤議員** 児童手当を受給しているのに、保育所の入所負担金、学校給食費が未収金、不納欠損処分になるのは。

**A. 教育課長・福祉課参事** 電話または家庭訪問等を通じて納付するよう催促している。現在も徴収を

続けています。

**Q. 大石議員** 全体的には町債の状況は減っているが、23年と24年を比べると依存財源の中で増えているのはなぜか。

**A. 総務企画課長** 前年の繰越明許部分の事業、新たにできたことによる過疎債のソフト事業で4千5百万円ほど増えました。町債総額は前年より1億6千万程度減少しています。

### 総務費

**Q. 片山議員** 広報広聴活動費で、予算にあった広報モニターの協力謝礼が決算で上がっていない。協力者がいかなかったのか。

**A. 総務企画課参事** 昨年度は実績がありませんでした。謝礼のないアンケートなど、広く意見を聞く方法を取っていました。

**Q. 植西議員** 協働のまちづくり推進事業で、手打ち蕎麦に51万円の助成を行っているが、内容は。

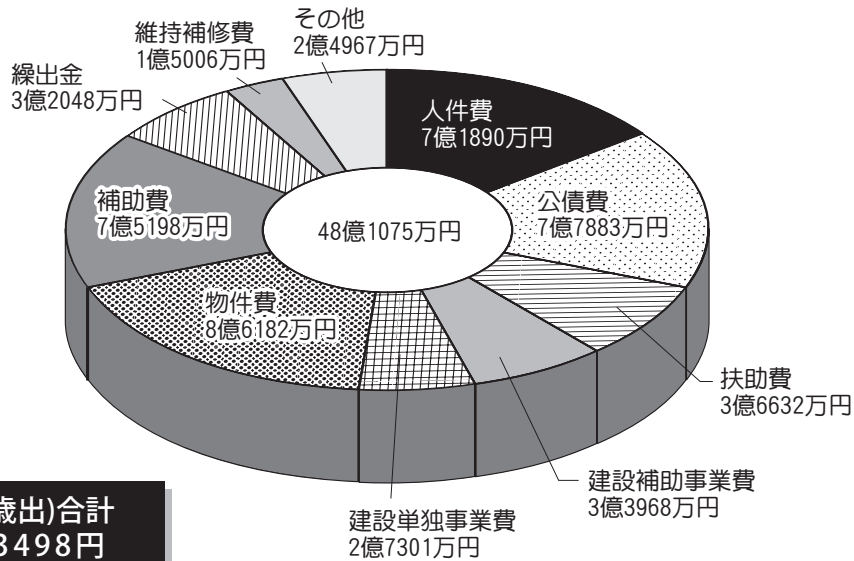
**A. 総務企画課参事** 鷹栖手打ち蕎麦同好会に対し、道具代の4分の3を助成しました。会員の親睦と町全体に蕎麦打ちを広めるという事業で、平成24年度は鷹栖地区住民センターで3回教室を開いています。



蕎麦打ち教室

# 平成24年度

そよかぜ団地建替工事 1億6887万円、鷹栖市街地雨水排水整備工事



**一般会計支出(歳出)合計  
48億1075万3498円**



クマ捕獲オリ(北成地区)

## 農林費

**Q. 辻本議員** ヒグマ危害防止パトロール業務委託料とあるが、ヒグマの駆除に対して出しているのか。

また、北海道の被害防止の対応は。

**A. 産業振興課長** 委託料は、ハンターの保険料と巡回・パトロール等の費用弁償、捕獲に対して支出しています。

道では駆除に対しての助成は出ていません。

**Q. 近藤議員** 未来になぐ森づくり推進事業補助金が当初予算の234万円に対し、150万円の支出しかしていないのは、なぜか。

**A. 産業振興課長** 当初の見込みよりも事業を実施する方が少なかったためです。

## 衛生費

**Q. 片山議員** チャレンジデーは、生涯元気づくりにどのようにつながっているのか。予算的に、もう一回、全国的なイベントに参加することも可能だと思いが考えは。

**A. 生涯元気課長** 4千人を超える参加があり、健康づくり、運動習慣につながる成果があったと考えます。

今後健康づくりポイント制事業などのきっかけづくりをしていきます。全国

的な事業参加は今のところ考えていませんが、さまざま取り組みをしていきたいと思えます。



夏季巡回ラジオ体操

## 民生費

**Q. 近藤議員** はびねす運営委員会が利用料見直しを目的に開かれているが、どんな内容になったのか。

**A. 福祉課長** 8名で運営委員会を組織し、料金を含め、運営、利用方法について年5回会議をしました。今までもおり、高齢者の活動は無料で運営を行っています。

# Q&A

## 決算認定質疑 平成25年第3回定例会

### 民生費

Q. 片山議員 障がい者

福祉費の緊急雇用創出推進事業は、24年度で終了しているが、この事業の評価は

A. 福祉課長 就労に向

け鷹栖共生会を取り組んでもらい、1人就業につながりました。

町としては単年度の補助事業で終了していますが、障がい者の受け入れ態勢整備につながる成果はあったと考えています。

### 公債比率

Q. 木下議員 決算審査

意見書に「依存財源が74%を占める中、歳出の公債費比率が16・2%になっている。事業にあたっては十分な検証を」とある。この内容について、どのようにとらえているのか。

A. 町長 審査意見書

にもありますが、公債費比率は年々、改善されています。

鷹栖地区住民センターなど公共施設の修繕も必要になってきますが、将来の負担が偏らないよう検討し、事業を進めていきます。



配食するお弁当を作る(とわ北斗)

### ◆特別会計◆

### 水道事業

Q. 木下議員 1日最大

配水量が、23年度に比べて非常に大きな数字となっているが原因は。

A. 建設水道課長 1年

間の中で、1番多く配水された日量であり、大規模な改良工事を行ったためです。

### 介護保険

Q. 近藤議員 配食サー

ビス負担金が予算より歳入も歳出もかなり減っているがなぜか。

A. 福祉課長 23年度に

は新規でサービスを利用される方が一気に増えたので24年度も予算を大きく取っていました。思いのほか利用者が増えなかったためです。

### ●議会を傍聴しませんか●

議会には、年4回の定例会(3・6・9・12月)と、その都度開かれる臨時会(不定期)があり、町の運営に必要な予算や条例などを審議し、町の最終的な方針を決定しています。皆さんの声がどのように町政に反映され、運営されているのか。ぜひ一度足をお運びください。

また、6月定例会の一般質問の映像DVDと音声CDを12月1日から試験的に貸し出すことにしました。ご利用の方はお気軽にお問い合わせください。(議会事務局87-2111)



# 議会の新体制が決まりました

新議長に新田健一氏、副議長には木下忠行氏

9月12日の第3回定例会議後、青野敏議員が議長辞任を表明し、辞職願を提出しました。

10月2日の臨時議会で、議長の辞職が許可されたので、議長・副議長の選挙が行われ、それに伴い新しい議会構成が決まりました。



【新田健一議長】

多様化する住民のニーズに応えるために、執行機関と議会が一体となり、鷹栖町の発展と福祉の向上、子どもたちの声の間こえる明るいまちづくりに取り組んでまいります。

【木下忠行副議長】

私の持てる力を精一杯発揮して、議長の補佐役として、また、議会の責任ある立場の一人として、今後も力いっぱい努力してまいります。

## 総務文教常任委員会



中村公憲 大石 隆  
青野 敏 ◎植西辰義 ○坂根玲子

## 経済福祉常任委員会



辻本 篤 中家 彰 片山兵衛  
木下忠行 ◎藤澤孝夫 ○近藤義紀

### 議会運営委員会

◎木下忠行 ○中村公憲  
藤澤孝夫 大石 隆 植西辰義

### 議会報特別委員会

◎新田健一 ○植西辰義  
中村公憲 辻本 篤 大石 隆

◎委員長 ○副委員長

## 【青野議員の議長辞職に至る経緯】

平成 25 年 7 月 関連会社による産業廃棄物の不適切処理の報道あり		
7月	23	全員集会 青野議長自身より経緯説明、今後の対応について
	26	議会運営委員会 青野議長に対する議長辞職勧告について
	29	第7回臨時会 <b>青野議長に対する議長辞職勧告決議</b> 議会運営委員会 今後の議会運営について
8月	19	全員集会 経過確認、今後の対応について、26日議員協議会の欠席届
	26	全員集会 青野議長、辞意表明
9月	12	第3回定例会後 <b>青野議長、辞職表明</b>
	13	青野議長、9/25付辞表提出
10月	2	第8回臨時会 <b>議長の辞職許可</b>



大雪カムイミントラ・スタンプラリー

質 問

カムイミントラ・スタンプラリーでの取り組みは

情報提供を行い、参加増に向け取り組み

鷹栖地区住民センターの建て替えと複合化は

28年度以降に着工、併設した図書館を建設したい

大石 隆 議員

答 弁

質 問

大雪カムイミン

タラは、上川中央部1市8町からなるエリアで、上川総合振興局と地域の企業や住民が力を合わせて、スタンプラリーを開催している。

エリア内の観光施設やレストラン、ホテルなどに設置してあるスタンプを3つまたは6つ集めて応募すると、抽選で約240名に賞品が当たるというもので、今年は7月13日～10月14日の期間で開催されている。

町内の参加企業は1社のみとなっているが、町はどのように取り組んでいるか。

答 弁

町 長

大雪カム

イミントラ事業は、広域的に連携した取り組みをしています。

平成18年から展開しているスタンプラリーは、観光客が多数訪れるエリアでは、集客効果を上げています。

しかし本町では年に5千円の参加負担金を支払い参加しても集客につながらず、現在では1店舗のみの参加となっています。

地域の特産品や地域の魅力を発信する有効な取り組みですので、参加増に向け、情報提供など進めていきます。

質 問

鷹栖地区住民セ

ンターは、昭和45年に福祉会館として建設、昭和56年から公民館として活用されてきた。

その後建設されたさまざまな施設もあるが、地区の住民にとっては、住民センターを中心とした活動が多く、早い時期での建て替えが望まれている。改築の予定年度は。

また図書拡充の考えの中で、図書館単独か、図書館を併設した建物を考えているのか。

放課後児童クラブや郷土資料館も併設してはどうか。

答 弁

町 長

平成26

7年度にかけて住民の方と話し合いをしながら建物の構想を策定し、28年度以降に改築を進めたいと思います。

合わせて図書室の拡充も検討したいと考えています。図書館を単独に建築するのでなく、住民センターと併設することを考えています。

多くの機能を持たせれば持たせるほど、後世に負担を残す形にもなりまうので、そうならないような改築計画を進めたいと思います。

片山議員は、「一問一答方式」で質問しています。

…質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、答弁を繰り返す方法。

複数の質疑事項があっても『持ち時間45分間』の時間制限あり。

## 質問

### 町主導で6次産業化を

#### 答弁

まずは事業者の前向きな努力に期待



6次産業化認定証を授与される事業者

#### 質問

農水省は6次産業化事業の普及・拡大を強力に推進している。

これは農林漁業と製造業、小売業を一体化させて、新たな付加価値を創出し、経済的にも余力の持てる農林漁業を確立させようというもので、7総（第7次鷹栖町総合振興計画）の活力あふれるものづくり施策とそのまま合致する。

しかし総花的な内容のため、煩雑でつかみどころがなく、読み解くには相当な忍耐と時間が必要と思われる。

その反面、うまく工夫すれば、わが町でも、相当範囲に利用できることがあるのではないか。

#### 答弁

本来、この政策を利用したいと考えるのは各事業者個々であり、それぞれが対応すればそれで済むとは充分承知しているが、町職員の手で、6次産業化関係法を読みほぐし、その噛み砕いた情報を各農家にフィードバックするという手法はとれないものか。

さらに言えば、町が主導し町ぐるみでこの事業の活用を考えることができれば、その効果ははかりしれないと思われる。職員の手をわずらわせず、それだけの見返りは充分にあると思うが、考えは。

#### 答弁

町長

早くから6次産業化的な取り組みを行っている複数の事業者がいて、実際に6次産業化の認定を受けて新商品の開発に取り組んでいる方もいます。

また昨年3月には、鷹栖町農業経営者同友会が、6次産業化プランナーを講師に招き研修会を実施しています。

情報のフィードバックは、内容や対象が多岐にわたるため、個々の問い合わせに対して対応する考えです。そのため相談に乗れるような体制の整備に努めていきます。

#### 答弁

若手農業後継者や担い手、商工会の方たちとこの事業に限らず、さまざまな研修会や意見交換会など、ひざを交えて将来を語り合うような機会を積極的に創つていく考えです。

その中から、新しい取り組みの発想も出てくると思います。

町主導ではなく、まずは事業者の方の前向きな努力を期待します。側面の支援はもちろん、鷹栖町も全面的にバックアップしていきたいと考えています。

片山 兵衛 議員



中村議員は、「一問一答方式」で質問しています。  
 …質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、答弁を繰り返す方法。  
 複数の質疑事項があっても『持ち時間45分間』の時間制限あり。



役場3階に展示されている美術品

質 問

本町所蔵の彫刻、絵画の取り扱いは

答 弁

親しみが持てる環境づくりを

中村 公憲 議員

**質問** 本町所蔵の彫刻、

絵画などは何点あり、どの部署が管理しているのか。また展示のルールは。美術品を積極的に町民に公開してはどうか。

**答弁** 町長 彫刻10点、

絵画47点、その他の置物、伝統芸能品など23点で総務企画課が管理しています。展示ルールは特に定めてなく、不定期に交換をしています。

作品の巡回は展示スペースの確保、管理の面から難しいですが、広報で紹介することも検討したい。

**質問** 所蔵品80点、全て展示されているのか。

**答弁** 町長 約50点、

役場庁舎と住民センター、メロディーホールなどに展示しています。残り30点は役場地下の物品庫で保管しています。

**質問** 展示は不定期で

交換しているとのことだが、直近はいつ行ったのか。

**答弁** 町長 3年間く

らいは交換していません。長期にわたり交換していないことも含めてお詫びします。今後はしっかりと入れ替えをしていきたい。

**質問** 展示の工夫をすれば、新たな資本投下せ

ずに、役場庁舎が小さな美術館となるのでは。

**答弁** 町長 見て、感

動していただけることも考え、見る機会を多くして町民の皆様に親しんでいただけるような展示の仕方を考えていきたい。

**質問** せっかくの財産

を町民全員が共有できれば、子どもの情操教育にも役立つ、感情、知的・美的なものが養われる。

たとえば年4回の定例会に合わせ、公開の場を設ければ、相乗効果も期待できるのではないかと。

**答弁** 町長 親しみが

持てる環境づくりをしていきたいと考えています。

**質問** 現在あるものを

最大限有効に使い、しっかりとしたルールの下で展示するべき。

町民向けの作品リスト、美術品マップを作成するのも一つの方法では。

**答弁** 町長 情操教育

のためには、読書だけでなく、美術品にふれることも大切だと考えています。

教育委員会とも連携しながら今後進めていきたいと思えます。



第3回定例会では、決算認定審議・3名の一般質問（6～8ページ）の他に、報告、条例、補正予算、意見書などを審議し、また、上川中部消防組合の解散・財産処分・事務承継について原案のとおり議決しました。

また、2件の人事案件に同意しました。

定例会前には議場で功労者表彰が行われました（10ページ）。

## 消防組合の解散

平成26年3月31日付で上川中部消防組合が解散することを議決しました。

それに伴う財産処分と事務の承継に関する協議書及び、今後旭川市に事務を委託する規約について原案のとおり可決しました。

これにより、鷹栖支署消防職員は旭川市消防の職員となり、鷹栖町は事務負担金を旭川市に支払うこととなります。

ただし、消防団や水利施設などの事務は鷹栖町が継続して行います。



## 条例・規約

■北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更  
法改正による文言の削除

■北野地区換地委員会設置  
条例  
国営緊急農地再編整備の換地業務を円滑に進めるため、委員会を設置します。

■修学基金貸付条例の一部改正  
貸付が急増しているため、額の上限を下げ、償還期間を短縮します。

■公営住宅管理条例の一部改正  
法改正による文言の整理

■介護保険条例の一部改正  
■後期高齢者医療に関する条例の一部改正  
■税外諸収入金の徴収に関する条例の一部改正  
法改正による文言の整理



## 補正予算

総額

8388万円の増

平成25年度の予算が次のとおり増額されました。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	8210万2000円	47億4340万9000円	48億2551万1000円
内 訳	議会費	△139万6000円	議員共済負担金
	総務費	317万5000円	地域情報化推進事業ほか
	民生費	1046万1000円	社会福祉管理事業
	衛生費	93万5000円	生ごみ堆肥化施設維持管理及び運営事業
	農林費	4005万円	有害鳥獣駆除対策事業ほか
	商工費	91万7000円	消費者行政活性化事業ほか
	消防費	2807万5000円	高機能消防指令システム導入事業ほか
	教育費	△11万5000円	小学校施設整備事業ほか
国 保	159万5000円	9億481万2000円	9億640万7000円
公平委員会	18万円	1600万4000円	1618万4000円

- 無線電波アンテナ設置の初期費用を補助します
- 修学基金積立金を増額します
- 生ごみ処理機械のモーター等を修理します
- 旭川駅に鷹栖町の特産物展示スペースを設けます
- 鷹栖小の電気温水器を修繕します
- 小学校に図書購入のための寄附をいただきました

# 第3回 定例会

9月11～12日



## 国政に物申す！ 意見書提出

■「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

### 【内容】

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

この意見書を関係行政庁に提出しました。

### 【提出先】 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・環境大臣



## 報告

■平成24事業年度株式会社鷹栖町農業振興公社の決算及び平成25年事業年度の事業計画

■平成24年度鷹栖町健全化判断比率・公営企業の資金不足比率

町の健全な財政状況を確認しました。詳しくは広報たかす11月号をご覧ください。

■平成24年度鷹栖町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価



## 人事案件

### ■教育委員の選任同意

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

教育委員は、月1回の定例会議を始め、教育政策や政策アイデアの提案をしたり、住民の教育ニーズを行政に、また、教育委員会の政策を住民に伝えるなど、住民と教育とのパイプ役を担います。

舟根 輝好さん(新任)

(8線11号)

### ■人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

人権擁護委員は、人権擁護委員会に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をします。

斉藤 功さん(留任)

(北野東3条1丁目)

## 功労者表彰

永年、文化財審議会委員として勤続された朝倉光治様が功労者として表彰され、谷町長より、表彰状と特別功労章が贈られました。



定例会前に行われた表彰式の朝倉氏

### 鷹栖町議会

議会に関するお問い合わせはこちらへ

〒071-1292  
北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目  
5番1号  
TEL 0166-87-2111  
FAX 0166-87-2196  
mail:gikai@town.takasu.hokkaido.jp

## 第7回臨時会

7月29日に開催された臨時会において、条例改正、一般会計補正予算、財産の無償譲渡、工事請負契約について審議し、原案のとおり可決しました。

### ■条例

【町営バス運送事業条例の一部改正】 知遠別線の運行経路に北1条1丁目(くらしの店たかす前)を加えるものです。

### ■補正予算

【一般会計】 議員研修費と、町営バスの経路変更による増額補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	39万6000円	47億4301万3000円	47億4340万9000円
議会費	23万1000円	議員研修事業、議会報発行事業	
総務費	16万5000円	町営バス運行事業	

■財産の無償譲渡 土地境界の錯誤を修正するため、隣接の町有地を譲渡するものです。

【土地の場所】 鷹栖町南1条1丁目739番地53 5.32平方メートル  
鷹栖町南1条1丁目739番地56 16.43平方メートル

【相手方】 吉野 富春氏(鷹栖町在住)

■近文橋交付金事業修繕工事請負契約 指名競争入札により下記のとおり契約しました。

【契約金額】 7528万5000円

【相手方】 鷹栖町南1条2丁目 株式会社 山元組  
代表取締役社長 山元 一弘

## 第8回臨時会

10月2日に開催された臨時会において、2件の事業契約について審議し、原案通り可決しました。また、議会の新体制を決定しました(詳細は5ページ)。

### ■契約

平成26年度からの旭川市との消防広域化に伴い、旭川市防災センターからの出動指令を受けするため、鷹栖消防署及び消防車輛等に旭川市と同様の装置を整備します。(関連9ページ)

- ・高機能消防指令システム 【契約金額】 937万6500円
  - ・消防救急デジタル無線 【契約金額】 1690万5000円
- 【相手方】 札幌市中央区 株式会社 富士通ゼネラル  
北海道情報通信ネットワーク営業部

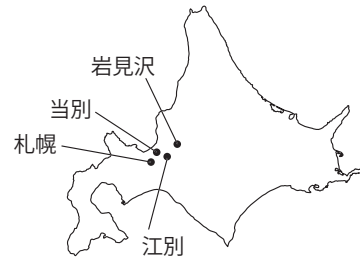
### ■選挙

【上川中部消防組合議会議員】

議員欠員に伴う選挙で、指名推薦により、木下忠行議員が当選しました。

# 経済福祉常任委員会

平成25年8月5日～8月6日



1日目 8月5日

## ◆(株)NOWAそらち【岩見沢市】

- ・IT化生産システム
- ・土耕による太陽光利用型植物工場

## ◆特定非営利活動法人ゆうゆう【当別町】

- ・共生型コミュニティー農園ぺこぺこのはたけ

2日目 8月6日

## ◆北海道銀行アグリビジネス推進室【札幌市】

- ・6次産業化と加工、販売等の連携サポート
- ・ITシステムの活用と農業参入、先進的な取り組み事例

## ◆(株)町村農場【江別市】

- ・バイオガスプラントと発電システム



## (株)NOWAそらち（岩見沢市）

### 調査概要

現在ハウス20棟で、ほうれん草を年6回から8回転の収穫を行い、年間45トンを出荷している。また農作物の栽培だけでなく、加工事業を含め、ハード・ソフトを含めた地域資源を高度に利用した6次産業化に取り組んでいる。

もみ殻を30センチ鋤込み、そこに地温調整用の送風管を通し、その上に土壌を60センチ盛り上げて作土層とすることにより、地中の酸素濃度を高め、冬場には地温を高めることにより生育を安定させることができる。

温度や湿度、土壌水分、施肥量や日照量など生育に欠かせない栽培データは、IT化によりパソコンでコントロールする。

植物工場は、一般的には水耕栽培だが、土耕によるのは日本では初めてのことである。大手電機メーカーとの共同開発も進めている。

### 委員会所見

農業のIT化は、後継者不足や高齢化が進む中、生産技術の伝達や技術のストック化にとって重要な手段であり、本町においても早急に取り組むべき課題である。

今回の視察では、宮本圭一氏の類まれなトータルコーディネーターとしての才能によって、栽培技術の新規開拓と高齢者や障がい者などの雇用創出や企業との共同研究を含む異業種との交流など、幅広い6次産業化の実践例として参考になるものであった。

また土耕による栽培ということもあり、アナログとハイテクの融合によって高機能野菜の栽培を確立するということも大いに参考になった。



## 特定非営利活動法人ゆうゆう（当別町）



### 調査概要

「ゆうゆう」と社会福祉協議会との関連は、両者で地域福祉ターミナルで活動し、障がい者は「ゆうゆう」、高齢者は社会福祉協議会にと分担している。「ゆうゆう」は北海道医療大学の卒業生が主体で、同大学ボランティア約500人が地域住民ヘルパーに登録し、それぞれの支援を行っている。

### 委員会所見

本町でも、共生会、さつき会、社会福祉協議会がより連携を密にし、福祉関係を充実していくべきと感じた。

## 北海道銀行アグリビジネス推進室（北海道銀行 札幌市）



### 調査概要

北海道銀行は1951年に設立された北海道札幌市中央区に本店を置く地方銀行。

平成6年から農業融資を積極化、平成21年からは農業専門部署「アグリビジネス推進室」を設置するなど、農業分野におけるさまざまな取り組みをしている。

- ・ 農業融資の金融サポート制度
- ・ 6次産業化支援
- ・ IT栽培システムの活用と農業参入
- ・ 農業生産者の連携を目指す先進的な取り組み

### 委員会所見

商談会やセミナーや5日間にわたる「農業経営塾」などの情報発信、6次産業化を支援するための出資も行うなど、町としても活用できる取り組みがあるのではないかと考える。詳細な調査が必要と考える。

## (株)町村農場（江別市）



### 調査概要

バイオガスプラントと発電システムのメリットは・・・

- ①ふん尿の臭気の削減により地域との共生が可能となった
- ②20～24時間発電により、月間30～40万円、年間400万円の電気代の節約
- ③バイオガスプラントの消化液は肥料として年間200万円の削減ができ、周りの農家からも「うちの畑にも」と依頼がある

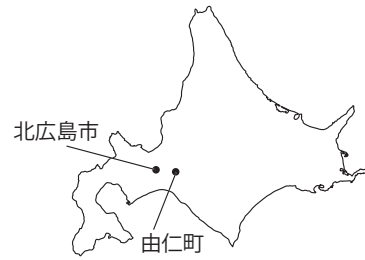
### 委員会所見

20年前に現在地に移転し、臭気の苦情により色々考え、日本で単体農家初のバイオガス発電に取り組み、大きな成果を挙げている。

本町においても畜産臭気の減少、電気・肥料代の削減には最適であり、数戸の畜産農家が集まり、町の生ごみなどを利用すれば、運用可能であると考えられる。

# 議会報特別委員会

平成25年8月21日



## 読者の興味をそそる工夫は（道新総合印刷 北広島市）

### 調査概要

議会だよりを手にして一目で読者の興味をそそる見出しや目に留まりやすい工夫は、目線の流れ方でどの位置に強調した目次や文章を置くかということや、**黒塗りに白い文字**が一番重要な項目になることである。

情報通信の環境の変化で、テレビが地上波デジタル放送、新聞がWebニュース配信と大きく変化している中で、議会だより「孔雀草」は目的・用途が明確な紙媒体であり、議会(議員)と町民との円滑なコミュニケーション活動を助け、議会からの連絡、報告を速やかに、正確に伝えるものである。

### 委員会所見

道新総合印刷で印刷をとの打診もあったが、印刷できる紙は中性紙で大きさはタブロイド版で、現在の「孔雀草」より大きいので、そばに置いていつでも読んでもらうためには、少し難しいと考える。

広告を掲載することにより、製作費用の軽減になるとともに、町民の身近な施設、企業が載っていることで興味が湧いてくることであったが、今後の検討課題であるとする。

議員が町民の立場になって広報紙を作り、議員自らが積極的に責任をもって編集することは重要であるが、伝達事項の寄せ集めではなく、イラスト、図を使い、一号の中でストーリーを考え、平易な言葉や写真で読みやすくという努力が必要である。



子ども新聞を見る



## 図書館視察と図書館司書の仕事（ゆめっく館 由仁町）

### 調査概要

図書館、メインホール、常設展示室、郷土資料館、視聴覚室・AVコーナーからなる1515㎡の複合施設。幼児コーナー、児童閲覧室有り。

幼児専用のトイレがある。

ホールにテーマ展示を毎月に行っている(例:エッセイを読もう、夫婦作家の本 など)。

由仁で発掘されたマンモスとオオツノシカの実物大のレプリカを展示。

### 委員会所見

由仁町は、財政健全化団体を乗り越えての図書館運営は並々ならぬ苦労があったと思われるが、生涯学習の場、情報発信基地として強い信念と決意があつてなされている。

本町も、子どもたちが言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かにするための「司書」を新たに配置した。

今後の司書の活躍に期待したい。



夫婦作家の展示

「ありのままにわかりやすく住民とともに」という題で講師は広報コンサルタントの深沢徹氏。題にある3つの重要ポイントに基づき、企画、レイアウト、文章・用語・表記など具体的な技術についての注意点などが説明された。

読者である住民の目線に立った紙面構成、インタビュアーやモニター制度を導入するなど住民参加型の広報作り、審議内容や議決結果などを掲載するなど、本来の意味での議事公開を目指すべきとの内容。文体を統一すべきとの話もあった。

従前、鷹栖町議会報は議員の質問を「だ・である調」(常体)、行政側の答弁は「です・ます調」(敬体)にしているが、検討したい。

希望のあった町村の議会報の良い点、悪い点を指摘する「クリニック」では、より具体的にどうすればもっと良くなるのが指摘されていた。このクリニックで講評してもらうことも検討していきたい。



広報コンサルタントの深沢氏

## 議会のうごき

2013.8.1 ~ 10.31

### 8月

- 5日 経済福祉常任委員会所管事務調査  
(~6日 岩見沢市・当別町・札幌市・江別市)
- 20日 全道議会広報研修会・議会報特別委員会所管事務調査(~21日 札幌市・北広島市・由仁町)
- 23日 上川町村議会議長会中央部会定例会 (愛別町)

- 8日 議会報特別委員会
- 16日 議会報特別委員会
- 21日 総務文教常任委員会 (第9回臨時会について)  
議員協議会(北野警団跡地利用について)
- 22日 管内議会議長研修会 (~23日 上川町)
- 25日 **第9回臨時会**
- 30日 管内町村議会議員研修会 (旭川市)

### 9月

- 2日 経済福祉常任委員会 (第3回定例会について)
- 3日 総務文教常任委員会 (第3回定例会について)
- 5日 議会運営委員会(第3回定例会の案件や意見書について協議し、会期などを決定)
- 11日 **第3回定例会**  
議会報特別委員会
- 17日 議会報特別委員会
- 24日 議会報特別委員会

このたび一身上の都合により、鷹栖町議会議長の職を退任いたしました。

在任中は公私共に格別のご厚情とご支援を賜り、大過なくその職責を果たし得ましたことに対し、町民をはじめ関係者各位の皆様のおかげによるものと衷心より厚くお礼申し上げます。

議長を退任いたしましても、一議員として本町の発展に全力で努力する所存でありますので、皆様方には今後とも変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます、退任のご挨拶いたします。

大変ありがとうございました。

平成25年10月

前 鷹栖町議会議長 青野 敏



廣瀬清純さん  
(14区町内会)

## 「誇りに思う鷹栖町を目指して」

わが郷土鷹栖町は、先人の知恵と努力で住みやすく、誇りの持てる町に発展しております。一例を挙げるならば、「音響で定評のあるメロディーホールを活用した活発な芸術・文化活動」「おいしい米のできる町」「大人も子どもともに交わす挨拶習慣」「河川整備の整った災害のない町」等が挙げられます。

しかし、今ひとつ気がかりなことは「タバコの吸殻、包装紙、空き缶のポイ捨て」「一時停止線での無停車通行」「はびねず浴場での身体不洗浄入浴」等が見受けられます。これらのことを見過すならば、美的また衛生的環境の低下を招いたり、大きな交通事故の原因ともなり、住みやすい誇りの持てる町づくりの妨げになるのではないかと危惧します。

今、人々の交流が盛んな時代、町の信用や誇りを傷つけることは厳に慎まなければなりません。良識ある日常行動の習慣化に向け、町民自らは無論のこと、指導的立場にある方々は率先して範を示し、町づくりを進めていただきたいと思います。

## わたしの一言

### 「仕事ができるよろこび」

60歳で定年退職をして2年半が過ぎました。現在は再任用職員として65歳を目指して働いています。毎朝、ベッドから起きるたびに、今日は使い物にならないなと感じるほど体が動きません。朝食を済ませる頃にやっとエンジンがかかり、5分足らずで職場に着く頃にはエンジン全開・・・あ～今日も仕事ができる。心も身体もいつまでも若くあり続けるために、町内のイベントになるべく参加をして若者と交流を図るよう心掛けています。

私の趣味は、ガーデニング、山菜取り、漬物、ソフトボール、これからやってみたいことは、パークゴルフ、孫たちとのスキー、体力づくりのためのチャリオ(自転車)との旅では力いっぱい叫んでみたい、「人生下り坂最高～!!」って…。

今、私に一番元気をくれるのが町内で現役で働いている同級生です。月に一度くらいは飲み会をして近況報告をしている時が一番楽しいひとときです。(仕事をしてる時間なんてないかもしれない…?)

第2の人生始まったばかりです。今が一番若い時、「仕事はやりがいをもって行おうべし」



相澤達雄さん  
(北野西町内会)

### あとがき

色鮮やかな錦秋の中で、米を始めに五穀豊穡を喜び合えたと思います。大雪山より白い便りが届く季節となりました。町民の皆様には多大なご心配をおかけしていましたが、新たに議長、副議長が選出され、議会新体制の下、明るいまちづくりを進めていきたいと思ひます。

今定例会での、平成24年度決算審査認定、一般質問、上川中部消防組合の解散に係る案件の議決や、臨時会、2委員会の視察研修内容を掲載しました。最後に、「わたしの一言」にご寄稿くださいました、廣瀬清純さん、相澤達雄さん、ありがとうございました。

■次回の定例会は12月です